

# フィールド風

(現場)からの

宮田守男

秋に農作業の慰勞を兼ね家族での旅行の企画を練る。旅行会社は、長野県内に本社があること。旅行経費は、国内か海外での3泊4日の旅で1人10万円以内。旅先の詳しい見聞に大切な添乗員が全行程同行すること。地域経済に参考になる場所。が条件。楽しいのは、この行き先探しだ。朝早くから夕暮れまで移動を余儀なくされる旅もあれば、魅力ある場所をゆっくり巡る旅などさまざま。高齢によって移動困難になる年齢も遠い未来ではない今、出掛ける時期を大切にしたいと思う気持ちが年々強くなってきている。今回も、母や子供達の理解もあり実現出来た旅だった。

11月下旬、アルピコ

長野トラベル株が募集した、「グルメの台北と九份4日間」に参加を決め、県内各地から参加した15名で楽しい旅をすることが出来た。同行した添乗員は、若い女性の方だが多くの対応の場面で感

動を覚える。参加者と初対面ながら瞬く間に名前と顔を覚え、きめ細かな対応。現地のホテルでは各部屋を廻り、参加者と詳細にホテル設備内容を確認。フロントで鍵を渡され、翌日の集合場所、

との添乗ではなく、「何かあったら部屋にいますので、何時でも連絡を」との対応には、慣れない土地での不安が遠のく。観光地で降雨に遭遇すると、古新聞をフロントで受け取り、「次の日の出掛け

乗る旅行に次回も参加したい」との気持ちも自然と言葉になった。 今回の台湾旅行は、現地でも案内人が同行した。国の収入にとつて観光産業は大切。台湾に訪れたお客様から、台湾で

多くの金額を消費させるかが案内人の最大の目的だ。台湾は、親日家も多く、多くの場面で日本語会話ができ、接客マナーでも嫌な場面には出会わなかった。聞く台湾人は家を構えることは財を築くこととの認識から人生での最大の

## 地域から外出することで地域の課題を考えてみませんか



どの観光スポットも大混雑だが、中国からの観光客は激減しているとの情報だ

目標は、住宅取得。古い家屋から、高層ビル化へと変化する街並は、高度成長期の日本を彷彿させる。限られた物件のためか、マンション物件(50坪)が多く、立地条件の良い場所では、坪1千万円。 続々 (NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)